

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公表番号】特表2020-537649(P2020-537649A)

【公表日】令和2年12月24日(2020.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2020-052

【出願番号】特願2020-520804(P2020-520804)

【国際特許分類】

C 0 7 K	16/30	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	38/08	(2019.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/08	(2006.01)
A 6 1 P	1/18	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/04	(2006.01)
A 6 1 P	27/16	(2006.01)
A 6 1 K	47/65	(2017.01)
A 6 1 K	47/68	(2017.01)
A 6 1 K	47/55	(2017.01)
C 1 2 N	15/13	(2006.01)
C 1 2 N	15/11	(2006.01)

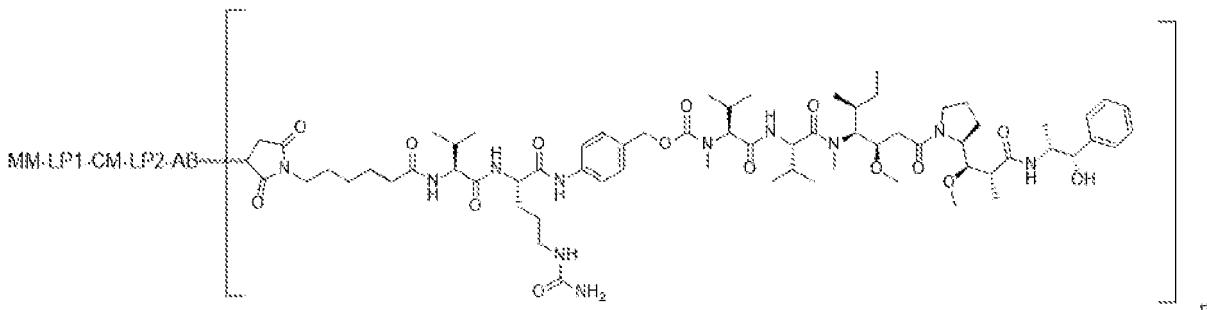
【F I】

C 0 7 K	16/30	Z N A
C 0 7 K	19/00	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	39/395	L
A 6 1 K	38/08	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	13/08	
A 6 1 P	1/18	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	11/04	
A 6 1 P	27/16	

A 6 1 K	47/65
A 6 1 K	47/68
A 6 1 K	47/55
C 1 2 N	15/13
C 1 2 N	15/11
	Z

【手続補正書】**【提出日】**令和3年5月13日(2021.5.13)**【手続補正1】****【補正対象書類名】**特許請求の範囲**【補正対象項目名】**全文**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項1】**

式(I) :

【化1】

式(I)

[式中、

(a)

(i) ABは、ヒトCD71に特異的に結合し、

i. 配列番号9を含むCDRH1配列、配列番号10を含むCDRH2配列及び配列番号11を含むCDRH3配列を含む重鎖可変領域、並びに

ii. 配列番号12又は配列番号13を含むCDRL1配列、配列番号14を含むCDRL2配列及び配列番号15を含むCDRL3配列を含む軽鎖可変領域を含む抗体であり、

(iii) MMは、配列番号18のアミノ酸配列を含むマスキング部分であり、ここで活性化可能なコンジュゲート抗体が非切断状態にある場合に、MMは、ABの、ヒトCD71への結合を阻害し、

(iv) LP1は、配列番号207のアミノ酸配列を含む、第1の連結部分であり、

(v) CMは、配列番号156の配列を含む切断可能部分であり、ここで、CMは、プロテアーゼに対する基質として機能するポリペプチドであり、

(vi) LP2は、配列番号38のアミノ酸配列を含む、第2の連結部分であり、

(b) 「n」は2である。]

の構造又はその塩を含む、活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項2】

ABが、IgG1アイソタイプを含む、請求項1に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項3】

A B が、重鎖定常領域を有する抗体であり、ここで、重鎖定常領域の C 末端残基が、リシンではない、請求項 1 又は 2 に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 4】

重鎖可変領域が、配列番号 5 の配列を含み、軽鎖可変領域が、配列番号 7 の配列を含む
、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 5】

配列番号 1 6 7 の配列を含む重鎖及び配列番号 1 9 の配列を含む軽鎖を含む、請求項 1
~ 4 のいずれか一項に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 6】

配列番号 5 の配列を含む重鎖可変領域及び配列番号 2 0 1 の配列を含む軽鎖可変領域を
含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 7】

配列番号 5 の配列を含む重鎖可変領域及び配列番号 2 0 2 の配列を含む軽鎖可変領域を
含む、請求項 6 に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 8】

配列番号 5 の配列を含む重鎖可変領域及び配列番号 2 0 2 の配列を含む軽鎖可変領域を
含み、配列番号 2 0 2 の N 末端アミノ酸が、ピログルタメートへと修飾されている、請求
項 6 に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 9】

配列番号 1 6 7 の配列を含む重鎖及び配列番号 1 6 9 の配列を含む軽鎖を含む、請求項
1 ~ 5 のいずれか一項に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 10】

配列番号 1 6 7 の配列を含む重鎖及び配列番号 1 7 0 の配列を含む軽鎖を含む、請求項
9 に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 11】

配列番号 1 6 7 の配列を含む重鎖及び配列番号 1 7 0 の配列を含む軽鎖を含み、配列番
号 1 7 0 の N 末端アミノ酸が、ピログルタメートへと修飾されている、請求項 9 に記載の
活性化可能なコンジュゲート抗体。